



2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月31日

上場会社名 株式会社CSSホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2304 URL <http://www.css-holdings.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林田 喜一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 岩崎 善彦 TEL 03-6661-7840
 四半期報告書提出予定日 2020年8月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	9,626	△31.4	△573	△225.0	△283	△162.0	△200	△1,170.7
2019年9月期第3四半期	14,022	9.2	458	99.3	457	90.9	18	△85.5

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 △249百万円 (2,143.4%) 2019年9月期第3四半期 △11百万円 (△106.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	△39.63	—
2019年9月期第3四半期	3.70	3.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	5,068	2,340	46.2
2019年9月期	5,855	2,639	45.1

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 2,340百万円 2019年9月期 2,639百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2020年9月配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 連結通期業績予想につきましては、現段階で合理的な業績予想を行うことが困難なことから未定として、記載しておりません。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。なお、該当理由につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	5,285,600株	2019年9月期	5,285,600株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	232,070株	2019年9月期	240,170株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	5,050,840株	2019年9月期3Q	5,045,431株

期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式（2020年9月期3Q 146,700株、2019年9月期末154,800株）が含まれております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2020年9月期3Q 146,700株、2019年9月期3Q 154,800株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点における当期の連結業績予想は、2020年5月12日に公表したものと変更はありません。（当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。）

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、リーマンショック以上のマイナス成長になると予想され、景気は急速に悪化しています。当社グループの主要顧客であるホテルにおいてはインバウンドの大幅な減少、緊急事態宣言に伴う外出自粛により利用客は激減、レストラン・バー、宴会場を閉鎖したホテルも多くなっています。百貨店等の商業施設についても外出自粛の影響は直撃しており、売上・利益共に大きく減少しています。銀行に代表される金融機関においては、低金利による貸出利鞘の縮小が続いていることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響による引当金の増額等により経営状況は芳しくありません。

このような環境下にあつて当社グループも、ホテル依存度の高いスチュワード事業、フードサービス事業の両セグメントにあつては、売上は大きく落ち込みました。空間プロデュース事業においても一部新型コロナウイルス感染症の影響を受けています。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は9,626百万円（前年同期比31.4%減）、連結営業損失は573百万円（前年同期は連結営業利益458百万円）、連結経常損失は283百万円（前年同期は連結経常利益457百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は200百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益18百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績の業況は以下のとおりです。

①スチュワード事業

当事業は、ホテル・レストランを中心として食器洗浄及び管理業務を全国展開する当社グループの中核事業となるセグメントです。

当第3四半期連結累計期間は、緊急事態宣言により主要顧客であるホテルのレストラン・バー及び宴会場がほとんど稼働せず、受託業務も激減、売上高が大きく落ち込みました。多くの現場を支えるパート・アルバイトについては、新型コロナウイルス感染症収束後のホテルの再開に備え雇用を確保すべく、賃金補償をした上で休業を指示しております。休業にあつては、雇用調整助成金の特例措置を活用しておりますが、申請から支給まで一定程度時間を要することから支給された時点で営業外収益として計上しております。

この結果、売上高は4,130百万円（前年同期比23.9%減）、営業損失は565百万円（前年同期は営業利益254百万円）となりました。

②フードサービス事業

当事業は、従業員食堂、レストラン運営の受託を全国で展開し、フードビジネス事業としてセグメントを構成します。

フードサービス事業は、売上高の約8割がホテルに関連しています。当第3四半期連結累計期間は、ホテルの業績悪化の影響により、宿泊客の減少、出勤する従業員の減少により朝食レストランの休業や従業員食堂の営業停止などが相次ぎ、売上高は計画を大きく下回りました。パート・アルバイトについては、スチュワード事業セグメント同様に新型コロナウイルス感染症収束後のホテルの再開に備え雇用を確保すべく、賃金補償をした上で休業を指示しており、人件費の負担により営業損失の計上となりました。休業にあつては、雇用調整助成金の特例措置を活用しておりますが、スチュワード事業と同様に、申請から支給まで一定程度時間を要することから、支給された時点で営業外収益として計上しております。

この結果、売上高は1,748百万円（前年同期比54.8%減）、営業損失は76百万円（前年同期は営業損失7百万円）となりました。

③空間プロデュース事業

当事業は、映像・音響・放送・セキュリティーに関する設計・販売・施工・管理・メンテナンスに加えBGM及び香りまでを提供する空間プロデュース事業としてセグメントを構成します。

当第3四半期連結累計期間においては、メガバンクや大手法人の新規投資が減少している影響により、金融営業部門、法人営業部門の大型件名の獲得が進まず、売上高が落ち込みました。また新型コロナウイルス感染症の影響もあり、フレグランスの部門もサービスの休止や解約が増加しました。一方、音響機器の販売については、コロナウイルス感染症によるイベントの中止、輸入製品の遅れの影響や、緊急事態宣言に伴うテレワーク対応などで営業の効率が低下したこともあり、売上高は計画を10%程度下回ったものの、販管費の圧縮も進んだことで、営業利益については、計画を上回ることとなりました。

この結果、売上高は3,718百万円（前年同期比21.0%減）、営業利益は69百万円（前年同期比70.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対し、786百万円の減少により5,068百万円となりました。その主因は、現金及び預金370百万円の減少、受取手形及び売掛金776百万円の減少、未収入金259百万円の増加などによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度に対し、487百万円の減少により2,727百万円となりました。その主因は、支払手形及び買掛金215百万円の減少、未払金241百万円の減少及び長期借入金110百万円の減少などによるものであります。

純資産は、298百万円減少し、2,340百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の業績予想については、2020年5月12日付にて未定とお知らせしたところですが、スチュワード事業及びフードサービス事業の両セグメントでのパート・アルバイトの休業に伴う賃金補償に対する雇用調整助成金の特例措置の利用にあたり、給付金の申請から入金までの時間が予想しづらく、経常利益を見通すことが難しいことから、引き続き業績予想は未定とさせていただきます。

当社としては、今後も新型コロナウイルス感染症の影響、及びそれに伴う景気動向を注視しつつ事業運営に努め、業績予想を合理的に見積もることができた際に、改めて適時開示を速やかに公表してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	807,512	436,601
受取手形及び売掛金	1,810,790	1,033,969
商品及び製品	402,534	426,470
仕掛品	40,305	77,461
原材料及び貯蔵品	20,913	11,061
未収入金	—	259,727
その他	188,396	115,459
貸倒引当金	△706	△626
流動資産合計	3,269,747	2,360,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	934,574	936,792
減価償却累計額	△459,402	△482,598
建物及び構築物(純額)	475,171	454,194
土地	951,628	951,628
その他	160,273	179,250
減価償却累計額	△121,296	△131,064
その他(純額)	38,977	48,185
有形固定資産合計	1,465,778	1,454,008
無形固定資産		
のれん	45,258	40,466
その他	111,055	98,600
無形固定資産合計	156,313	139,067
投資その他の資産		
投資有価証券	632,312	563,496
繰延税金資産	146,685	361,135
その他	188,093	192,778
貸倒引当金	△3,901	△1,949
投資その他の資産合計	963,190	1,115,460
固定資産合計	2,585,282	2,708,536
資産合計	5,855,030	5,068,661

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	475,767	260,579
短期借入金	800,000	950,000
1年内返済予定の長期借入金	110,000	110,000
未払金	726,277	484,480
未払法人税等	52,199	13,800
賞与引当金	165,280	71,779
その他	363,222	410,787
流動負債合計	2,692,746	2,301,426
固定負債		
長期借入金	165,000	55,000
リース債務	72,545	68,753
退職給付に係る負債	245,540	265,586
株式給付引当金	15,220	12,409
長期未払金	22,544	22,544
資産除去債務	721	721
その他	1,500	1,500
固定負債合計	523,071	426,515
負債合計	3,215,817	2,727,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,562	393,562
資本剰余金	279,306	279,306
利益剰余金	1,962,006	1,709,856
自己株式	△99,508	△96,122
株主資本合計	2,535,367	2,286,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,845	54,116
その他の包括利益累計額合計	103,845	54,116
純資産合計	2,639,212	2,340,719
負債純資産合計	5,855,030	5,068,661

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	14,022,776	9,626,074
売上原価	11,415,808	8,565,004
売上総利益	2,606,968	1,061,069
販売費及び一般管理費	2,148,131	1,634,774
営業利益又は営業損失(△)	458,836	△573,704
営業外収益		
受取利息	1,045	995
受取配当金	15,359	11,693
受取賃貸料	13,455	6,934
為替差益	3,609	261
物品売却益	—	11,862
雇用調整助成金	—	246,653
その他	14,253	23,141
営業外収益合計	47,723	301,543
営業外費用		
支払利息	18,675	9,008
支払手数料	28,185	1,677
その他	2,290	606
営業外費用合計	49,151	11,292
経常利益又は経常損失(△)	457,408	△283,452
特別利益		
投資有価証券売却益	36	—
固定資産売却益	46	34
段階取得に係る差益	20,557	—
特別利益合計	20,640	34
特別損失		
固定資産除却損	—	0
損害賠償金	2,917	—
減損損失	252,896	—
特別損失合計	255,813	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	222,235	△283,418
法人税、住民税及び事業税	191,476	107,999
法人税等調整額	12,065	△191,270
法人税等合計	203,542	△83,270
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,693	△200,147
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	18,693	△200,147

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,693	△200,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,831	△49,728
その他の包括利益合計	△29,831	△49,728
四半期包括利益	△11,138	△249,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,138	△249,876

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	5,424,751	3,866,804	4,700,864	13,992,421	30,355	14,022,776	—	14,022,776
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	1,170	181	7,411	8,762	227,147	235,909	△235,909	—
計	5,425,921	3,866,986	4,708,276	14,001,184	257,502	14,258,686	△235,909	14,022,776
セグメント利益 又は損失(△)	254,124	△7,213	233,939	480,849	25,249	506,098	△47,262	458,836

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△47,262千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	4,129,742	1,745,519	3,714,750	9,590,013	36,060	9,626,074	—	9,626,074
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	1,170	3,318	3,481	7,970	244,944	252,914	△252,914	—
計	4,130,912	1,748,838	3,718,232	9,597,983	281,004	9,878,988	△252,914	9,626,074
セグメント利益 又は損失(△)	△565,538	△76,883	69,132	△573,290	22,813	△550,476	△23,227	△573,704

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△23,227千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

雇用調整助成金収入

当社は、新型コロナウイルスの影響により従業員の休業に伴う雇用調整助成金の交付を受けました。

(1) 助成金の入金日 2020年8月5日～2020年8月27日

(2) 助成金の交付額 628,519千円

(3) 損益に与える影響 2020年9月期第4四半期連結会計期間において、営業外収益で計上いたします。